

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	飯田地域の特産品販売・振興事業
事業主体 (連絡先)	明治大学・空き家人情プロジェクト産学連携体 飯田市知久町1-10 (株)飯田まちづくりカンパニー 三石秀樹 mail@akiya-ninjyou.com
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	876,275 円

事業内容

リニア開通を見据えた継続的取り組みとして、中心市街地の低未利用の空き家や裏界線などの利活用、特産品の販売・振興、都市間連携(飯田・原宿)の推進を、3年間で段階的に行う。本プロジェクト完了後には、その成果をさらに発展させ、飯田市中心市街地の魅力の向上と飯田地域のブランド形成を継続的に推進していく。

■今年度の事業内容

- 飯田市中心市街地の裏界線や空き家の活用
 - ・中心市街地の裏界線沿いの空き家改修を明治大学建築・アーバンデザイン研究室が地元の建築家などと相談し計画した。「りんご並木歩行者天国」の際に、空き家周辺に展示することにより、地元住民などと広く共有した。
 - ・「りんご並木歩行者天国」を10月21日開催し、来訪者は30,000人超。
- 飯田市中心市街地における特産品の販売と振興
 - 「りんご並木歩行者天国」において、地域の生産者、販売者と連携しながら、りんご、りんごジュース、シードル、りんご加工食品などの特産品販売実施。
- 渋谷区原宿神宮前穂田商店会と連携した地域振興
 - 渋谷区原宿神宮前穂田商店会「Apple Road Market」や原宿二丁目本通りでのイベントにおいて、飯田の地域性を生かした空間プロデュースを行い、特産品を販売し、飯田地域の魅力を広く発信した。



【地元店舗で販った裏界線小路】

【目標・ねらい】

- ①中長期的展望に基づく、複合的かつ多角的な取り組みによる飯田市中心市街地の商業活動の活性化
- ②中心市街地の低未利用の空き家や裏界線などの利活用
- ③飯田地域のブランド形成の継続的な推進
- ④リニア開通に向けて、中心市街地を軸とした飯田ブランドの形成と発信

事業効果

1.特産品の販売・振興

- ・「りんご並木歩行者天国」「Apple Road Market」における特産品売上の増加: H30 対H29比 100%増(前年度売り上げ210,000円)。以降毎年20%増加目標。
- ・「りんご並木歩天国」「Apple Road Market」における特産品の振興: 来場者の増加 H30 対H29比 20%増。

2. 中心市街地の活性化

- 1) 低未利用の空き家や裏界線などの利活用
 - ・地域住民による「裏界線」認知度の増加: H30 対H29比 約30%増 (H29、H30年度の統計については添付資料参照)
- 2) 都市間(飯田市と渋谷区)連携の推進
 - ・座光寺穂田のシードルの販売と普及: H30 売上約100,000円

※自己評価【A】

【理由】

りんご並木歩行者天国では30,000人超の来訪があり特産品販売を通して中心市街地のPRを行うことができた。約80名の高校生と産学連携体の活動や外から見た飯田の魅力、将来の可能性などに関して意見交換をすることができた。

今後の取り組み

■2018年度から3年間の取り組み

1. 飯田市中心市街地の空き家の改修、大学サテライトオフィスや商空間としての利用を通じた中心市街地における低未利用の空き家や裏界線などの利活用
2. 飯田市および渋谷区原宿神宮前地区と連携した地域の特産品の振興
3. 飯田市と渋谷区の2都市間連携の推進による両都市の魅力向上とブランディング